

# 金山町

# 議会だより

第208号

令和2年2月5日

発行 金山町議会

編集 議会だより編集特別委員会

〒968-0011

福島県大沼郡金山町大字川口字谷地393

☎ 0241-54-5341



今春から導入される車両（キハE120形）の試運転の様子。

この列車は、新潟地区（羽越本線、米坂線等）で使用されていたものをデザイン変更したものです

〔12月定例会のあらまし 会期／12月23日～25日〕

(ページ)

12月定例会 条例の制定、補正予算 ..... 2～4

議案等審議結果一覧 ..... 5

一般質問に6人登壇「新人全員が質問」 ..... 6～11



最後の登壇者（一般質問）まで、熱心に聞き入る傍聴者。  
改選議員への期待が伺える

# 12月定例会

## 非正規職員 待遇改善へ

12月定例会は、12月23日から25日にかけて開催され、金山町会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例や一般会計補正予算など13議案が提案され、原案の通り可決されました。一般質問には、新人議員3人を含む6人が登壇し町政運営をただしました。

### 条例（議案審議）

#### 任用職員条例

#### フルタイム パートタイム 誰がなるの

**問** この条例の制定の根本的な部分は、非正規職員の処遇改善にあると認識しています。どのような雇用の形態がフルタイムとしてこれから採用されるのか、どのような職種部分のパートタイムとしての職員雇用の状態になるのか教えてください。

**答** 総務課長 フルタイム

ムの「会計年度任用職員」は、現在22条で勤務している一般の通常の事務職員と、小中学校に勤務している講師等を考えています。除雪の雇用オペレーター・臨時職員・地域おこし協力隊等は、兼業したいという話がありますので、パートタイムで任用する考えでいます。

#### 対象となる人は 何人なの パート含め数十人

**問** この条例改正に伴って、対象になる職員数は何人なのですか。

**答** 対象になる職員数は、フルタイム、パートタイム何人なのか。

**答** 総務課長 フルタイムに任用する予定の職員は、一般事務職等7人、講師4人を予定しています。その他は、パートタイムを予定しています。

#### 将来は、 本職員になれるの 今までと同じ

**問** 将来本職員に任用できる道筋、それ等があるのかどうか。

**答** 総務課長 臨時職員から本職員への登用ですが、これについては、あ



務者、他にも滞納があるのかどうか、この700万、滞納分が納税されたということで、延滞金が発生していると思が、どのくらいなのか。

**答** 住民課長 全て個人で14名です。滞納繰越に係る納税義務者は、全体で34名います。先ほど申し上げた14名のうち滞納分を完納した人が8名です。まだ滞納が残っている人は、全体で26名になります。今回発生した延滞金は、2054万9100円です。

## 延滞金 2000万円超 収納対策は

**問** 滞納に係る延滞金  
が、2000万円以上にな  
っている。非常に多額  
です。平成30年度決算に  
おいて、「不納欠損」が  
生じていますが、その原  
因の一つに相続放棄とい  
うものがありました。不  
納欠損が生じない方策を  
何か考えているのか。  
**答** 現在は、不納欠損に  
対する対策というより

も、多額な延滞金を納め  
ていただく方策を実施し  
ています。納税義務者  
と、毎週一定額を納める  
「納付誓約書」を取り交  
わし徴収しています。

## 水沼の光ケーブル 台風被害 今後どうする

**問** 地域情報通信事業費、  
光ケーブル事業367万  
円、台風19号によって水沼  
橋下流のところにあった  
ケーブルが、たるんで撤去  
されていますが、従前どお  
り川を横断する本復旧を  
考えているのか、水沼橋へ  
の敷設を考えているのか。  
**答** 総務課長 福島県に  
対し「水沼橋に添架させ  
ていただきたい」という  
話しをしています。荷  
重の問題があり、かなり  
難しいというお話があり  
ます。現在協議中です。

## こぶし館照明 LED化 どこを実施

**問** 活性化センター（こ  
ぶし館）の照明をLED  
化するということでは  
が、昨日、行ってみた  
ら、やはりかなりの数の  
照明がついていませんで  
した。今回、LED照明  
にするのはどの部分で、  
いつごろまでに完成する  
予定なのか。  
**答** 復興観光課長 こぶ  
し館内の食堂の部分につ  
いて、先行して一括LED  
化します。年度内の完  
成を目指します。なお、  
館内の中抜きになってい  
る照明については、食堂  
の修繕に伴い余ったもの  
や、在庫分に対応したい  
と考えています。

## 奥会津聖火リレー 三島町で実施に 30万円

**問** 奥会津4町村聖火リ  
レー、30万計上してあり  
ますが、報道によれば三島  
町内で1キロ程度走ると  
いうことですが、詳細は。  
**答** 教育次長 聖火リレ  
ーのコースとしては、三  
島町の三島中学校から三  
島町の観光協会の駐車場

までの約1キロを予定し  
ています。聖火ランナー  
は、4町村（柳津町・三  
島町・金山町・昭和村）  
から各1名の4名で1人  
250m程度のリレーと  
なります。各町村からサ  
ポートランナーとして、  
それぞれ5名を予定して  
います。金山町では、金  
山中学校に中学生を5人お  
願いしたいということで、  
要望している最中です。



講師は、新潟県長岡市出身の坂井仙台支社長

## 会津を拓く講演会に参加 JR東日本仙台支社長が講演

1月20日に、会津若松市のワシントンホテルを会場に、「会津地域の活性化に向けて」の演題で、JR東日本仙台支社長の坂井 究氏の講演会が開催され、町議会からも参加しました。この講演は、金山町も構成員になっている「会津総合開発協議会」等が、主催したものです。

講演の中では、只見線の復旧状況や、今春から営業運転する新たな車両（キハE120形）などの「只見線の運転再開に向けた取組み」等が話されました。



## 前議長全国大会で表彰 五ノ井清二氏在職32年

令和元年11月13日にNHKホールで開催された、「創立70周年記念第63回町村議会議長会全国大会」において、前議長の五ノ井清二氏が、議員在職30年以上、地方自治の振興発展に尽力されてきた功績により表彰されました。

## ■ 議案等審議結果一覧

※議長は、採決に加わりません（賛否が同数の場合には議長が採決します）

※賛成「○」 反対「×」

| 件名                                         | 議決結果 | 安藤雅朗 | 坂内謙 | 加藤夕子 | 栗城康太郎 | 横田正敏 | 奥高伸 | 黒川廣志 |
|--------------------------------------------|------|------|-----|------|-------|------|-----|------|
| <b>■ 第5回定例会（12月定例会） 令和元年12月開催</b>          |      |      |     |      |       |      |     |      |
| 金山町会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の制定について          | 可決   | ○    | ○   | ○    | ○     | ○    | ○   | ○    |
| 地方公務員法及び地方自治法の一部改正に伴う関係条例の整備等に関する条例の制定について | 可決   | ○    | ○   | ○    | ○     | ○    | ○   | ○    |
| 職員の給与に関する条例の一部改正について                       | 可決   | ○    | ○   | ○    | ○     | ○    | ○   | ○    |
| 金山町印鑑の登録及び証明に関する条例の一部改正について                | 可決   | ○    | ○   | ○    | ○     | ○    | ○   | ○    |
| 金山町排水設備指定工事店条例の一部改正について                    | 可決   | ○    | ○   | ○    | ○     | ○    | ○   | ○    |
| 令和元年度金山町一般会計補正予算（第3号）                      | 可決   | ○    | ○   | ○    | ○     | ○    | ○   | ○    |
| 令和元年度金山町国民健康保険特別会計補正予算（第3号）                | 可決   | ○    | ○   | ○    | ○     | ○    | ○   | ○    |
| 令和元年度金山町簡易水道事業特別会計補正予算（第2号）                | 可決   | ○    | ○   | ○    | ○     | ○    | ○   | ○    |
| 令和元年度金山町後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）               | 可決   | ○    | ○   | ○    | ○     | ○    | ○   | ○    |
| 令和元年度金山町特定地域生活排水処理事業特別会計補正予算（第3号）          | 可決   | ○    | ○   | ○    | ○     | ○    | ○   | ○    |
| 財産の取得について                                  | 可決   | ○    | ○   | ○    | ○     | ○    | ○   | ○    |
| 金山町監査委員の選任に関する同意について                       | 同意   | ○    | ○   | ○    | ○     | ○    | ○   | ×    |
| 議会だより編集特別委員会の設置について                        | 可決   | ○    | ○   | ○    | ○     | ○    | ○   | ○    |



## 黒川廣志議員の

### 一般質問

# 高齢者が安全・安心して暮らせる町づくりを

## 常に事業の改善を考えていく

問① 町全世帯の半数が高齢者の世帯で、一人暮らし374世帯、二人暮らし202世帯だ（11月1日現在）。自力で雪下ろし、排雪が困難になっている。町独自の雪害対策事業を実施すべきだが、どうか。

答 町長 除雪対策としては、排除雪設備に対する補助金交付事業や、地区への除雪機械貸与事業、社会

福祉協議会が運営する高齢者及び母子世帯等除雪対策事業があります。事業を継続するだけでなく、常に改善の余地がないかを意識しながら取り組んでいきたいと考えています。

問② 運転免許証返納者も増えている。高齢者の確保に向け、乗合タクシーの拡充が求められているが、どうか。

答 町長 平成21年4月から運行を開始し、昨年7月に大幅な変更を加え、現在、町内のタクシー業者2社と町が委託している2社、計6台のタクシーで運行しています。朝夕と土日の運行を

# 只見川流域の安全対策の強化を

## しっかりと関係機関に要望していく

問 10月の台風19号で阿武隈川の氾濫などで甚大な被害がでた。当町でも一時避難した方もおられる。

問① 今回の本名ダムの最大放流量は平成23年豪雨時の約半分だが本名地区下原を越流し、西谷地区右岸堤防崩壊の被害が発生した。どう認識した。

答 町長 下原地区の農地への越流についてですが、この地区は毎秒3500トン程度の流量で河川水が堤防を越えるため、東北電力が地上権の設定を進めている地域です。しかし、たび重なる被災は耕作意欲を低下させることになるなどから、洪水対策が必要と考えています。西谷地区の右岸

問② 来年3月からJR只見線第八橋梁（只見町寄岩地区）復旧工事による滝ダムの水位低下（ゲート全開）に伴い大量の土砂が流下し、本名ダム等への堆積が想定される。川底が更に浅くなり、豪雨時には再び家屋等への浸水被害の危険が増す。年度内の早い時期に関係機関による安全対策の意見交換の場を設けるべきだが、どうか。



東北電力が橋立地区で行っている「浚渫」

## 栗城康太郎議員の 一般質問



# 高齢者に共通する不安の解消について

## 町内の事業者と意見交換をしていく

問① 設置されている市区町村に住んでいる人しか入所することができない『地域密着型特別養護老人ホーム』を設置すべきだと思いが、調査・検討の結果、あるいは途中経過は。

答 町長 当該施設は金山町でいえばグループホームの中に多目的共同住宅が併設されているようなイメージになるかと思

います。地域密着型サービスについては、現行の第7次金山町介護保険事業計画の中にも定められており、その計画に沿って事業が進められています。新たな第8次計画については、来年度に策定を行うこととなり、ご指摘の地域密着型サービスについても、本格的な検討は来年度ということになります。地域包括ケアシステムの構築の中で総合的に検討されるべきものと認識しています。

問 只見町に只見ホームのサテライト型の地域密着型特別養護老人ホームとして「あさくさホーム」というものが平成27年12月に開設されています。隣町ですら、半日もあれば十分視察が可能かと思われ、ぜひ、その実際の施設、入所者、そういうところを視察し、具体的にこの地域密着型の特養ホームについて検討を進めていただきたい。

答 町長 「かねやまホーム」や「グループホームかねやま」には、それぞれ待機者がいて、他の町村の施設に入っていたいただいているとの認識を持っています。まずは金山町内で事業を営んでいるかねやま福祉会と情報交換しながら、現状の分析を行い、この先どういうやり方で待機者の解消を図るのか、法人の運営等も含めて意見交換をしたいと考えています。

問② 高齢者や要介護者の利便性に特化した介護タクシー・福祉タクシー等を運行する考えはないか。

答 町長 金山町では現在、これらのタクシーは運行していません。高齢者や要介護者が医療機関に行く必要がある場合は、社会福祉協議会に委託している移送サービスや、かねやまホームの福祉車両貸出サービスで対応している状況です。三島町では、10月から町内のNPO法人が介護タクシーを始めたとのこと。両町では条件が異なり、金山町でも実施できるかについては一概に言えない面もありますが、今後とも情報収集などに努めていきたいと考えています。

# 安心・安全な生活環境づくりについて

## カメムシ対策を考えたい

問 カメムシの大量発生は、生活環境への影響が大きいと考えるが、害虫被害への対策は。

答 町長 何らかの対策が必要との認識を持って

いました。これまでも町では住民が安心して生活できるよう、「集落保健衛生事業」に加え、カメムシなどの害虫駆除に対する補助事業を提案してきまし

たが、制度設計に当たっては、議員の皆さんからも様々な意見があり、成案に至らなかったという経過があります。しかし、町民の思いにこたえるためにも、何とかこの事業を

特養只見ホームに隣接する「あさくさホーム」  
只見町長浜地区に立地





## 坂内議員の 一般質問

# 増えている外国人を含めた観光客への対応について

## 地域の活性化につながるよう取り組んでいきたい

**問** ここ何年か外国人観光客が急増しています。今までいらっしやる期間は春から秋というのが大体でしたが、「雪の只見線に行きたい」という今までは考えられないような動きが出てきています。雪の降らない東南アジアからの観光客が増えているという数字も出ています。

**答** 山町への観光の目標値は。町長 調査を実施している観光物産協会によると、平成30年度の実績では、アンケート回答者総数が30カ国、735名で、来訪者の主な国籍は、多い順に台湾370名、タイ158名、香港44名、アメリカ31名となっています。これらはアンケート結果の数字ですので、実際にはより多くの方々が来訪していると推察されます。今後は既に奥会津エリアで一定の人気を確立している台湾を中心

に、来訪者の確保に努めていきたいと思えます。

**問** 外国人観光客へのインフォメーションや看板、地区のインフラ整備など、金山町で予定しているものは。

**答** 町長 今年度から会津川口駅を始めとする駅からの周遊促進を図るため、多言語対応のQRコードを表示し、携帯端末で読み取ることによって観光スポットごとの案内情報をリアルタイムに入手できる観光案内板の設置や、既存の観光パンフレットを一冊

にまとめた多言語対応の観光案内の作成を進めているほか、霧幻峡の渡しを利用する方々のために三更地区に観光トイレや栈橋の整備を進めています。

**問** せっかく観光の人たちが来て、地域でお金を落とすような、消費できるような食堂や、観光施設が少ないということもあります。町としてこれからやっていく政策は。

**答** 町長 町内滞在の時間を増やす必要があると考えています。現在、町ではJR駅を基点に、点在する観光スポットや集客施設を周遊する観光タクシーの運行や観光スポット周辺を周遊するレンタサイクルの設置について検討を進めているほか、県の事業を活用し、農家民宿経営に向けたアドバイス支援に取り組んでいます。また、地場産品の振興が図られるよう、デザインやパッケージのリニューアルといった商品開発を進めるなど、地域の活性化につながる施策に取り組んでいきたいと考えています。



大志ビューポイントで写真撮影をする外国人観光客  
会津川口駅9時39分着の列車で来町

# 外国人の人たちと出会って話をしよう 外国人の人たちと出会って話をしよう 外国人の人たちと出会って話をしよう 外国人の人たちと出会って話をしよう

## 外国人の人たちと出会って話をしよう 外国人の人たちと出会って話をしよう 外国人の人たちと出会って話をしよう 外国人の人たちと出会って話をしよう

**問** 外国人がこれだけ多くなっている現状もありながら、子供たちは中外国の人たちと出会って話をしようという体験や経験が少ない。これから2

021年、只見線が再開通を目指している中で、そのような体験もぜひ子供たちにさせてあげたいと思うが、どうか。

**答** 教育長 現在、金山

町には、たくさんの東南アジア等からのインバウンド客が来訪していますので、時宜を得た活動であると考えています。実現させたいと思っています

が、小・中学校の現在の状況からすると、学校教育で計画するのは難しいと思います。社会教育や公民館活動で計画・実施していければと考えています。



町観光施設の利活用も課題  
写真は、「自然教育村会館」



## 横田正敏議員の 一般質問

# 予算の重点化を

## しっかりと調整を図りながら取り組んでいく

問① 徹底した無駄の排除や事務事業のスクラップの可否を十分に検討することが大切ではないか。

答 町長 来年度の予算編成会議では、「既存事業については、新規事業の充実を図るため例外なく見直しを行う」とともに、廃止や縮小を検討し可能な限り経費の圧縮に努めること」とし、スク

ラップアンドビルドの考え方を示しています。国や県の制度に関連する事業のスクラップは難しい面もありますが、町独自の施策については、今後

も費用対効果を勘案し、効果が少ないものはスクラップしていくという考えのもと、事業を進めていきます。

問② 「あれもこれも」から「あれかこれか」への転換が求められている。優先順位をつけ、予

算の重点化を図ることが必要ではないか。

答 町長 新たな事業に重点的に取り組むためには、課題を整理しながら新規事業を行う環境を整えることが大切であると感じています。金山町の未来を見据え、進むべき方向性を見出すため、町における課題、例えば自然教育村会館やスキー場など観光施設のあり方や活用方法、農産物加工場などを含めた今後の農業

の方向性などを皆さんと一緒に考え、具体的に取り組んでいくことが重要であります。新年度は、

今後の金山町のあり方をさらに真剣に考える、計画を立て直す一年にしたいと考えています。今後10年間の町の方向性を定める総合計画の策定時期とも重なりますので、しっかりと調整を図りながら取り組んでいきます。

まない。既存の加工所を活かし、加工に力をいれた産業の6次化の推進を。

答 町長 農産物加工工場はぜひ実現したいという気持ちでいます。関係者も交えながら、あるいは議会とも話し合いをしながらみんなで考えて、行政側だけで考えるということではなく、それぞれ素案の段階から関係者を交えて検討していく協議体制をつくって取り組んでいきます。

# 投票率の向上にむけて

## 今後、検討していく

問① 投票に行かなかった10代20代には、政治には欠かせない当事者意識を育む、「主権者教育」が大切ではないか。

答 総務課長 中学校、小学校時代からの教育のあり方で投票率自体を変えていく国全体の仕組み

や町の考え方があれば、その若者世代の投票率がアップすると考えていますので、町の選挙管理委員会としても、教育委員会等に働きかけて、若者の投票率向上に力を入れたいと考えています。

問② 投票に行けなかつ

た高齢者（交通弱者）への対応策として、ワゴン車に投票立会人を乗せ、高齢有権者が住む地域まで出向く「期日前移動投票所」や「巡回バス等」を検討できないか。

答 総務課長 町民の方から「投票所まで行けな

い」、「何か足を確保してもらいたい」という声が上がっています。今後、投票所までの送迎バスの配車や投票所の統廃合、また期日前移動投票所の設置など、高齢者に配慮した投票のあり方を再検討していく予定です。

から「投票所まで行けな



只見線沿線景観整備が、実施された「めがね橋」周辺

## 加藤夕子議員の 一般質問



# JR只見線への取り組みについて

## 利用促進に向け、それぞれ取り組んでいる

**問** 2021年度内に再開通を予定しているJR只見線への取り組みについて伺う。

**問①** 新潟・福島豪雨に伴うJR只見線の不通区間（会津川口駅～只見駅）を抱える金山・只見町は、商工会や観光関係団体と共に只見線の活用策を考える「只見線活用連携体制構築実行委員会」を発足させた。只

見線の観光利用を効果的に推進するとしているが、取り組み内容は。

**答** 町長 今年度は外国人の誘客を目的とした海外旅行会社への営業活動を展開したほか、通年で観光誘客ができる旅行商品の造成、金山・只見町におけるおもてなしや受け入れ体制の強化に向けた体験活動ツアーなどを実施しています。

**問** そのツアーは、今のところ2つ消化され、3つ目のツアーの予定もあると聞く。福島県がやっているツアーは、車両を全て借りてやっているが、この3つに関して、通常の運行時間の車両を使ってツアーを遂行するというむちゃな方法をとっていますね。

**答** 復興観光課長 地元を受け入れ体制などの実情も考えて、30名から40名程度の募集を考えています。今後、ツアー企画に

補助を受けることなく続けていけるように、試行的なものとして、通常の交通手段でツアーを造成し、人呼び込みないかということを取り組んでいます。

**問** 後々そういうことを考えられているのであれば、金山町には「観光物産協会」があります。その従業員に旅行業の資格をとらせるのか、そういうことも考える必要があると思いませんか。でない

と、「只見町観光まちづくり協会」に頼んだり、結局は「奥会津交通」に頼まなければならなくなります。できれば町内で消費ができることが望ましいと思います。

**答** 復興観光課長 金山町観光物産協会では、将来的な旅行業の取得のために、観光物産協会職員の方が現在、各種資格の取得に向けて色々努力をされているところです。旅行業の取得ということ

になると、登録のための各種手数料や、供託金なども発生することも想定されます。今後議論していく必要はあるかと思っています。

**問②** 再開通後、会津川口駅は「ただの通過駅になってしまっているのではない」という町内外の声はどう受けとめられますか。再開通までに取り組む課題、再開通後の対策と取り組みについて伺います。

**答** 町長 只見線の再開通により会津川口駅での乗り降りが減り、町の活力が低下してしまうのではないかと危機感を抱いています。そのため、当駅を拠点として、沼沢湖、霧幻峡の渡し、大志ビューポイント、大塩炭酸場、滝沢のおう穴群を始めとする観光資源や道の駅奥会津かねやま、せせらぎ荘、来年開業予定の奥会津水力館といった集客施設への周遊を可能

にするため、町内各所に観光案内板の設置を行うとともに、駅からの移動手段として観光タクシーの整備やレンタサイクルの拡充といった2次交通の強化を検討しています。

**問③** 町内の沿線景観整備の現状と対策は。

**答** 町長 JR只見線と橋梁が織りなす渓谷の風景が世界的にも注目を集める中、植林された杉や繁茂した雑木などにより、美しい眺望が損なわれている場所もあります。そのため、金山町を含む沿線自治体では、県と共同で沿線支障木の伐採作業を開始しました。今年度、高倉地内「めがね橋」付近の伐採が完了し、現在は、県事業による大志ビューポイント付近の旧国道敷を利用した遊歩道の整備が進められています。今後も、沿線景観の向上に努めていきたいと考えています。

令和2年2月5日

# 人口減少時代のまちづくりについて

## 町の応援団を増やしていく試みが大切だと考えています

### 一般質問

安藤雅朗議員の



東京ビッグサイトで行われた「JOIN移住・交流&地域おこしフェア」に参加

**問** 人口減少、少子高齢化が急速に進む我が国において、新たな地方創生の方策として注目を集めているのが「関係人口」という考え方です。関係人口については、きちんと政策に落とし込み、推進していくことが必要と考えます。

**問①** 関係人口という切り口について町の考え方

を伺います。

**答** 町長 総務省の「これからの移住・交流施策のあり方に関する検討会」では、地域づくりの担い手不足という課題に対して、移住した「定住人口」ではなく、観光に

来た「交流人口」でもない、「関係人口」に着目して、地域外からの入り口を増やすことも重要であると報告されています。

関係人口とは、町外に居住している方で町にゆかりのある人や町に一定の関心を持つ人、これから町と何らかのかかわり合いを持ちたいと考えている人の総称だと認識しています。急速な人口減少が続く当町において、地域の集落活動や産業活動など日常の営みを持続させていくためには、町内への移住や定住の推進はもとより、町外に住みながらも金山町に思いを寄せ、継続的なかわり合いを持ちたいという方々、いわゆる金山町の応援団を増やしていく試みが大切だと考えています。

せ、継続的なかわり合いを持ちたいという方々、いわゆる金山町の応援団を増やしていく試みが大切だと考えています。

**問②** 交流人口を増やすことが関係人口拡大にも重要だと考えるが、町としての今後の観光物産振興ビジョンは。

**答** 町長 町では地域資源を生かした産業の振興を主要施策の1つに掲げており、来年度から令和3年度を始期とする第5次総合計画の策定作業に入る予定ですが、観光物産振興を図る施策の検討に当たっては、町特有の観光資源や農産物等の磨き上げを進めながら、その背景にある歴史や文化、かかわった人々の生き方などをストーリー化し、観光客や消費者の興味・関心を高める施策のほか、農業・工芸といった地域の営みや文化の体験活動、町民との交流事業なども盛り込めたいか検討していきたいと考えています。

**問** 関係人口としてかわってくれた方々が「定住」しようと、ここで、「金山町で頑張ってみよう」と思えるような施策、そういう方針を打ち出していくことを考えていますか。

**答** 産業課長 一番の課題となってくるのは、「プランナー」や、「コーディネート」だと思っています。プランナーが企画し、コーディネーターが、地元と関係人口となる外部の人間をどうやってつないでいくか、ここが重要になってくると思います。これは町がやるのか、あるいは町がやるのか、あるいは広域的にやるのか、こういった部分も踏まえ研究していかねばならない課題だと考えています。

**問** 山入歌舞伎のようなすばらしい伝統文化もある。それもやはり人が必

要。今の金山町、人が少なくなっている現状だ。町に呼ぶ施策は。

**答** 町長 もう町内だけで人材確保をしようとしても無理なので、これからは、今まで以上に町外にあらゆる機会を設けて金山においていただき、それをきっかけにして、やがては住んでいただくというような取組をやりたいと考えています。これまでも町外の方から赤カボチャの加工などについて提案事項として上がっていますし、あるいは三島町では編み組、細工をやっていますが、金山町にも三島町に負けないマタタビ細工の伝統工芸がありますから、そういうことも組み合わせながら、交流人口、関係人口を確保しながら、担い手もあわせて確保するといきたいと思っています。

**問** 山入歌舞伎のようなすばらしい伝統文化もある。それもやはり人が必

要。今の金山町、人が少なくなっている現状だ。町に呼ぶ施策は。



## 年頭の所感

明けましておめでとうございます。遅れ馳せながら謹んで新年のご祝詞を申し上げますとともに、皆様のご健勝とご多幸をお祈りいたします。

一年の計は、元旦にありと言われますが、令和二年の新しい年の初めに心を新たに、よりよい地方自治の実現に思いを寄せております。

現在の地方自治は、町と議会が独立対等の立場であり、政治の結果については両機関が住民に対して直接責任を負う仕組みになっていくことは言うまでもありません。特に議会は、住民に代わってその町の進路と運営の基本を決定するとき、広く住民の意向を反映させることを基本的な考えとしていきます。

「大衆は大知」であり、大衆は極めて賢明であり、公正であることをしっかりと認識することが大切だと思っております。仮にも、大衆を軽視する考えは民主主義の真意を踏み外し、民主政治の実現を阻害することを理解し行動すべきではないかと思っております。人は謙虚に素直に学ぶ心があってはじめて新しい知恵が生まれてくるのではないのでしょうか。

人も性格も、顔も考え方も、生き方も違いがあるからこそ豊かな文化も生まれてくるものだと思います。従って、違うことを嘆き排除するのではなく、違うからこそ尊く大事にし、違う人と争うのではなく、合意を見出すのが民主主義ではないかと思っております。

社会は刻々と変化し、そこに新たな文化が生まれ人間社会の発展がある。ややもすれば、私たちは、変わることに不安をもち、変えることに躊躇していかないでしょうか、しかし、本町の少子高齢化の課題を克服するためには、考えを変え、変えることを積極的に行なわなければならないと思います。諦めれば無になり、志のあるところに道は必ず開けることを信じ、行動したいと思っております。

(横田 正敏)

## 町村議会議員研修会に参加 「議会改革」を研修

1月27日に、町村議会議員研修会がビッグパレットふくしまで行われました。研修会では、「日本の政局・政治の行方（時事通信社解説員：山田恵資氏）」と「町村議会の現状と課題（明治大学教授：牛山久仁彦氏）」について講演が行われました。今後の議会運営に活かそうと県内各地の町村議会議員が一堂に会し、真剣に聞き入っていました。



## ごあんない

次回の定例会は、3月6日ごろ開会の予定です。  
一般質問は3月9日ごろとなります。  
お気軽に傍聴においで下さい。  
○役場1階の受付で「傍聴券」を受け取り  
4階の議場においで下さい。

〔発行責任者〕 議長 五ノ井義一  
〔編集委員〕 委員長 黒川 廣志  
副委員長 安藤 雅朗  
委員 坂内 雅朗  
加藤 夕子  
次回、金山町議会だより第209号は、5月中旬ごろ発行の予定です。